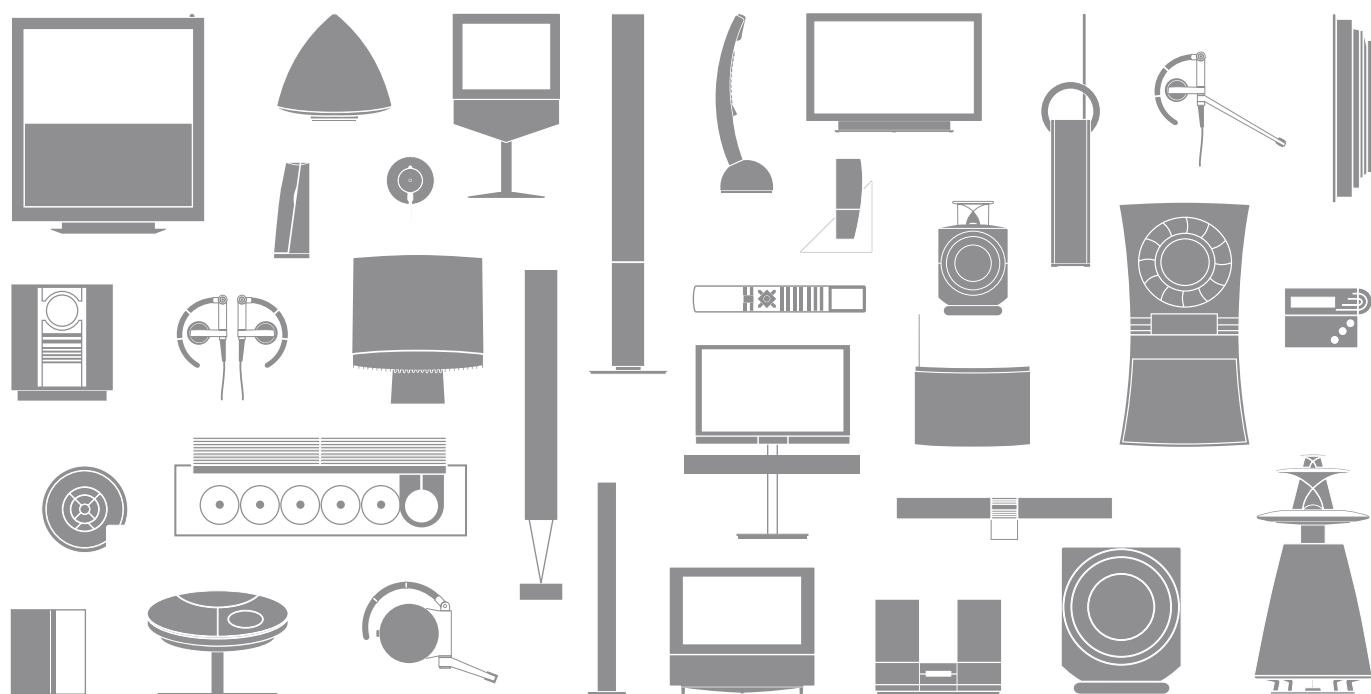


BeoCenter 2

ガイド



目次

このガイドは、BeoCenter 2の操作方法について説明します。

BeoCenter 2には、DVD 機能を搭載しているタイプと、搭載していないタイプがあります。このガイドでは、DVD 機能を搭載している BeoCenter 2の操作方法についても説明していきます。

設置の方法とソケットユニットにつきまは、ソケットユニットに付属しているガイドを参照してください。

本体上の操作, 4

本体上にある操作パネルから、各音源のスイッチを入れ、操作する方法

メニュー内の記号について, 6

メニューに表示される各記号の説明

メニューの使い方, 7

メニュー内を移動する方法と、メニューへの入力による設定の方法

初期設定, 8

本製品を初めて設置する場合の設定方法

二次的な機能やメニューの呼び出し, 9

本体操作パネルから、二次的な機能やメニューを呼び出してオンにする方法

ラジオ局の受信と、局名などの編集, 10

受信したラジオ局に名前をつけ、移動させたり削除する方法

オーディオ CD の設定, 12

CD 再生に伴う二次的な機能の操作方法、CD に名前をつけ CD の内容を編集する方法

タイマーで自動的に演奏を開始、または停止, 13

タイマー機能をオンにして、各タイマー設定に名前をつける方法

サウンドの設定, 14

音量、低域の強さ、高域の強さ、バランス、LOUDNESSを初期設定する方法

オプションの設定, 15

初期設定を変更する方法

暗証番号の使い方, 16

暗証番号システムをオンにして、使用方法

DVD の操作, 18

DVD の再生方法と、テレビ画面に表示される DVD メニューの使い方

Beo4 リモコンでの操作, 22

Beo4 を使い、本製品の各音源をリモートコントロールする方法

索引, 23

本体上の操作

本製品は、本体に触れることで各音源の操作ができるよう、設計されています。ラジオとCDは、すぐにお楽しみいただけます。操作パネル上のボタンを1つ押すだけで、選んだ音源がオンになります。

音量は、この“リング”上に指をスライドさせることで調整します。



ラジオのスイッチをオンにする

セットしたディスクの再生開始

ディスク用コンパートメントの開閉

二次的な音源や機能、メニューを、ディスプレイに呼び出す

特定のラジオ局の番号や、CDまたはN.MUSIC*の曲番号を直接指定する。またはメニュー内の項目を選択

メニューを終了する

BeoCenter 2をスタンバイ状態にする。2回押すと、システム全体がスタンバイになる

RADIO

DISC

LOAD

LIST

0-9

EXIT



CDではサーチ、N.MUSICモード*ではフォルダー間の移動を行なう。また、メニュー内のカーソルを横方向に移動させる



ラジオ局の番号、CDおよびN.MUSIC*の曲番号を送っていく。また、メニュー内のカーソルを上下に移動させる

GO

メニューへのデータ入力を可能にし、内容を確認/保存する。CDの再生中に押すと一時停止、もう1度押すと再生が再開する



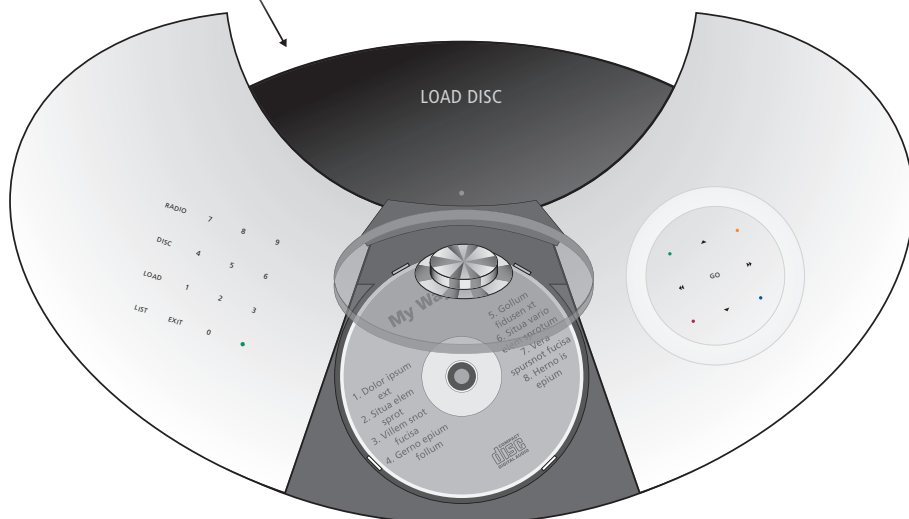
DVDの再生中に字幕メニューを呼び出すなど、DVDを操作している時に使用する。これらのカラーボタンは、DVD機能を搭載したBeoCenter 2でのみ使用できる*

*注意! カラーボタンは、N.MUSICの再生中にも使用します。詳しくは、BeoPortガイドを参照してください。

ヘッドホン端子



ヘッドホンが差し込まれると、本製品に接続されたスピーカーからの音が消えます。



ディスクをセットするには …

LOAD を押し、ディスク用コンパートメントを開きます。

ディスク用コンパートメントが開いたら、ラベル面を上に向けてディスクをセットします*。

LOAD を再度押ししてディスク用コンパートメントを閉じるか、DISC を押し、セットされたディスクの再生が開始されます。操作状況によっては、演奏開始まで少し時間がかかることもあります。

*ディスクは、必ず、4つあるガイドの内側にセットしてください。ディスクがガイドから外れていると、コンパートメントが正常に開閉しません。そのせいで、製品またはディスクが損傷する危険もあります。

演奏状況の表示 …



演奏の状況は、いつも詳細までディスプレイ表示されているわけではありません。常に表示されているのは、最初の1行だけです。本製品を操作すると、演奏中の曲の経過時間やCDの名称といった二次的な情報が、短いあいだ表示されます。ディスプレイの設定をEXTENDEDに変更すれば、二次的な情報をすべて含んだ現在の演奏状況が常に表示されます。詳しくは15ページをご覧ください。

インジケータライト …

いずれかのボタンに触れると、ディスプレイの下にあるインジケータライトが点滅します。スタンバイ時には、点灯したままになっています。

注意! BeoCenter 2は、Beo4リモコンでも操作することができます。詳しくは22ページをご参照ください。

メニュー内の記号について

BeoCenter 2のメニューは、各種のオプションを選ぶために使用します。二次的な機能などの選択に加え、初期設定の変更もメニューを経由して行なってください。

メニューには、使用している機能の現在の状況も示されます(たとえば“RANDOM-ON or OFF”など)。

メニュー内で使われている記号については、のちほどご説明します。メニューの中は、矢印キーを使って移動します。データを入力する必要があるメニューには、GOまたは▶を押して入ります。

メニューに変更を加えたあと、そのメニューを終らせるためにEXITを押すと、変更した内容を保存しますか、と質問されます。

特定の音源に付随しているメニューを、その音源をオンにすることなく呼び出そうとすると、ディスプレイには呼び出すための手順が表示されます。オーディオ/ビジュアルシステムに組み込んで使用する場合、一部の設定は、接続されているテレビまたはラジオ側で行なう必要があります。

メニューの深さを表す記号 …

- メニュー内で1レベル下の補助メニューに移動すると、メニュー名の前に点が1個表示されます。
- メニュー内で2レベル下の補助メニューに移動すると、メニュー名の前に点が2個表示されます。
- メニュー名の前に点が3個ついている場合は、そのメニュー内で3レベル下の補助メニュー、または、さらに深いレベルの補助メニューに移ったことを意味します。

. OPTIONS

- 1 SET CLOCK
- 2 ACTIVATE TIMER
- 3 SELECT LANGUAGE ...
- ▶ 4 DISPLAY SETUP ...
- 5 LIST OPTIONS
- 6 DVD OPTIONS ...

- メニュー名の後ろについた3個の点は、さらに深いレベルの補助メニューが存在することを示しています。

矢印カーソル …

- ▶ 矢印型のカーソルは、選択できるメニュー名と、さらに深いレベルの補助メニューが存在することを示しています。次のレベルへ進む場合は、▶またはGOを押します。
- ▷ 白抜き矢印は、そのメニューが現在は使用できないことを示します。

. OPTIONS

- 1 SET CLOCK
- 2 ACTIVATE TIMER
- 3 SELECT LANGUAGE ...
- 4 DISPLAY SETUP ...
- 5 LIST OPTIONS
- 6 DVD OPTIONS ...

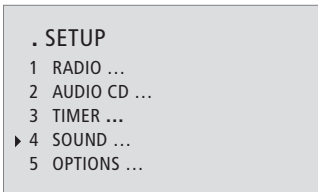
四角いカーソル …

- メニュー名の前にある四角いカーソルは、そのメニューが、データの入力を必要としていることを示します。データ入力が必要なメニューへ入るには、▶またはGOを押します。
- 白抜き四角は、そのメニューが現在は使用できないことを示します。

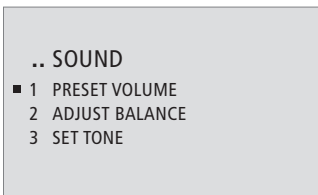


設定を変更するには …
LIST を押し、メニューシステムを呼び出す

▼ を押して SETUP まで移動する
▶ または GO を押し、SETUP メニューを開く



▼ を押して SOUND まで移動する
▶ または GO を押し、SOUND メニューを開く



▶ または GO を押し、PRESET VOLUME メニューを開く

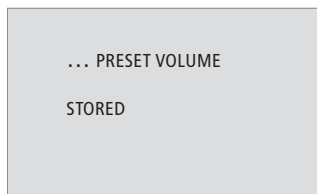
▲ または ▼ を押し、音量の PRESET LEVEL を調節する
GO を押しと現在の設定が保存され、ディスプレイに STORED と表示される



EXIT を押しと、このメニューが終了する
- 現在の設定を保存しない場合は、▶ を押してカーソルを IGNORE に移動し、その後 GO を押すか再度 EXIT を押す



ディスプレイに STORED と表示される



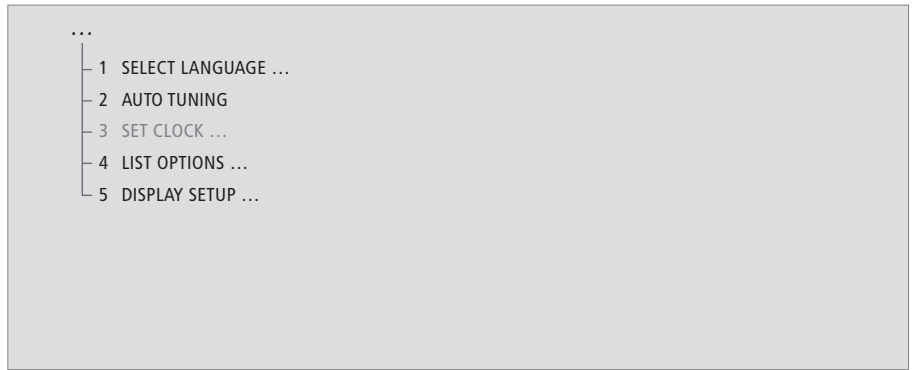
- メインメニュー …**
メニューシステムに入る
- LIST**
- ▲ 上下に移動
 - ▼
 - ▶▶ 入力が必要なメニュー、または補助メニューに入る
 - ◀◀ 前のメニューに戻る
 - GO** 入力が必要なメニュー、または補助メニューに入る
 - EXIT** そのメニューを終了する

- データの入力が必要なメニュー …**
- ▲ 上下に移動したり、メニュー内での選択または選択の取消をする
 - ▼
 - GO** 設定を保存し、メニューを終了する
 - ◀▶▶ 各設定間を移動したり、二次的な情報をディスプレイに呼び出す
 - EXIT** メニューを終了する。保存せずに終了する場合は、2度押す

初期設定

本製品を設置したあと、初めてスイッチをオンにすると、初期設定を行なうようにうながされます。初期設定用のメニューは、次の順序で表示されていきます:

- メニュー言語の設定
- ラジオ局の自動選局
- 時刻と日付の設定
- LIST を押したときディスプレイに表示される音源/映像源、および機能の追加
- ディ스플레이初期設定



初めてスイッチをオンにすると、FIRST-TIME SETUP (初期設定)メニューが自動的に現われます。

FIRST-TIME SETUP メニューの内容は …

SELECT LANGUAGE … 言語リストの中から、メニューを表示させたい言語を選択します。

AUTO TUNING … 受信可能なFM局およびDAB*ラジオ局を、すべて自動的に選局させます。

SET CLOCK … 内蔵されたクロックに、正しい時刻と日付をセットします。

LIST OPTIONS … LIST ボタンを押して表示されるディスプレイに、音源/映像源、機能、メニューを追加します。

DISPLAY SETUP … ラジオとCDの演奏状況について、表示させたい内容を選びます。

ご参考までに …

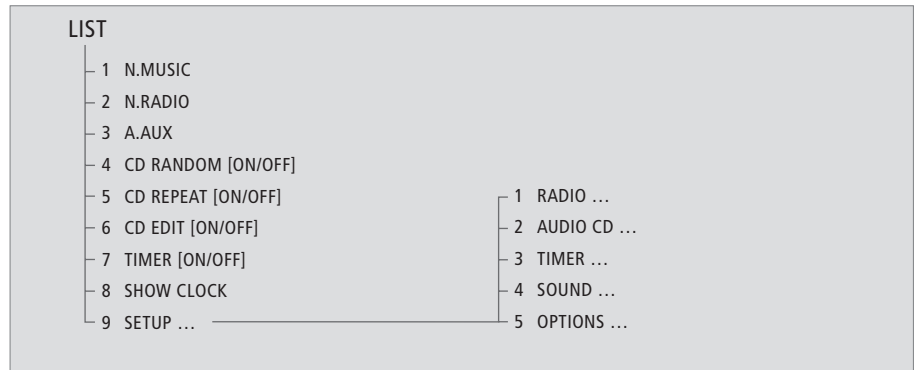
初期設定で設定した内容は、OPTIONSメニューからいつでも変更できます。OPTIONSメニューについては、15ページをご覧ください。

本製品がBang & Olufsenのテレビまたはラジオに持続されている場合、SET CLOCKメニューは表示されません。クロックの設定は、テレビまたはラジオ側で行なってください。

*注意! DAB(デジタルオーディオ放送)ラジオは、DAB放送が行われている地域内の、DABモジュールが内蔵された製品でしか受信できません。DABラジオの選局については、10ページの'ラジオの選局と編集'をご覧ください。

LIST ボタンを押したとき表示されるオプションから、追加したい音源/映像源、機能、メニューが選べます。

工場出荷時、LIST ボタンを押して使用可能となるメニューは、SETUP だけです。本製品に接続した各種の音源をオンにしたり、CD RANDOM やTIMER といった機能を使いたい場合は、これらの音源名と機能名をリストに追加します。詳しくは15ページをご覧ください。



LIST ボタンを押し、追加した音源、機能、メニューを呼び出します。表示されるリストの内容は、何を追加したかによって異なります。

N.MUSIC … N.Music を選択します。

N.RADIO … N.Radio を選択します。

A.AUX … AUX 端子を開き、AUX 端子に接続された機器にアクセスします。機器のスイッチはオンになりません。

CD RANDOM (ON/OFF) … CD のランダム再生機能をオンまたはオフにします。

CD REPEAT (ON/OFF) … CD のリピート再生機能をオンまたはオフにします。

CD EDIT (ON/OFF) … 編集済みの CD を、編集された曲順で再生する機能をオンまたはオフにします。

TIMER (ON/OFF) … タイマー機能をオンまたはオフにします。

SHOW CLOCK … クロックを、一時的にディスプレイに呼び出します。

SETUP … 各種の設定メニューを呼び出します。各設定メニューの詳しい内容については、のちほどご説明します。

ご参考までに …

各メニューは、そのメニューに振られている番号を指定して選べます。また、番号ボタンを押すことで、特定の機能をオンまたはオフにできます。たとえば、CD RANDOM ON/OFF 機能に振られている番号が 4 だったら、4 を押せば CD のランダム演奏機能がオン/オフできます。

メニュー内は、矢印ボタンを使って移動できます。番号ボタンを直接押して、そのメニューを選択することもできます。設定を保存せずにメニューを終了する場合は、EXIT ボタンを2回押します。

CD RANDOM などを LIST のオプションに追加すると、実質的に、その機能へのショートカットが作られることとなります。詳しくは15ページをご覧ください。

各種の CD 再生機能については、12ページをご覧ください。

注意! BeoCenter 2 が Master Link システムの中に設置されており、BeoPort をインストールしたコンピュータに接続されている場合、BeoCenter 2 経由で N.Music または N.Radio を聞くことができます。詳しくは BeoPort のガイドをご覧ください。

ラジオ局の受信と、局名などの編集

受信可能なラジオ局を、すべて自動的に受信させ、登録することができます。登録できるラジオ局の数は、最大で99局です。

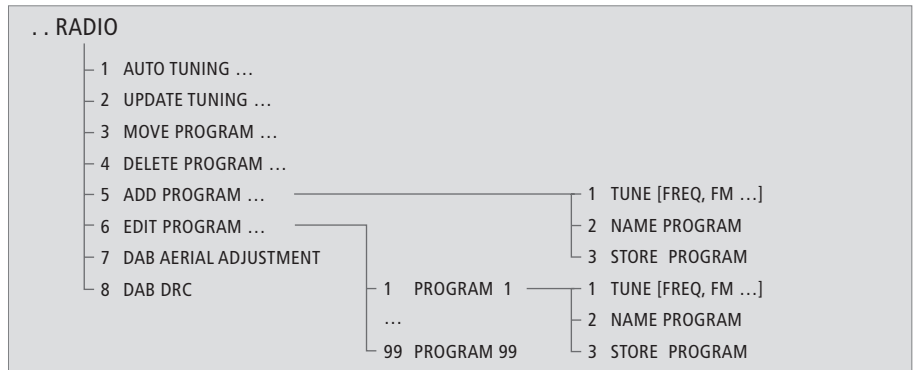
登録したラジオ局を選ぶには、その局の番号を直接指定するか、登録されている各局の中から探します。

登録されたラジオ局の表示順序は、MOVE PROGRAMまたはDELETE PROGRAMメニューを使って、変更または削除できます。

局名を発信しているラジオ局であれば、その局名が表示されます。各ラジオ局に、好きな名前をつけることもできます。

ラジオ局を追加登録する場合は、STORE PROGRAMメニューを使います。

DAB放送が行われている地域内で、DABモジュールが内蔵された製品を使っている場合は、デジタルラジオ局も登録できます。



RADIOメニューに入るには、LISTを押してSETUPメニューに入ったあと、RADIOを選びます。

RADIOメニューの内容は…

AUTO TUNING … このメニューを使用すると、すべてのラジオ局が自動受信されます。ただし、自動受信できるのはFM局とDAB局だけです。

UPDATE TUNING … 新しいDABラジオを受信します。詳しくは次ページをご覧ください。

MOVE PROGRAM … 登録した各ラジオ局が表示される順序を、変更します。

DELETE PROGRAM … 受信可能なラジオ局のリストから、不要なラジオ局を削除します。

ADD PROGRAM … 新しい局を追加登録したり、追加した局に名前を付けて保存します。

EDIT PROGRAM (1-99) … 受信状態を微調整したり、ラジオ局に名前をつけて保存します。

ADD PROGRAM、またはEDIT PROGRAMのどちらかを經由してTUNEメニューに入ると、◀と▶を押すことで、オプションが選択できるようになります。オプションの設定を変更するには、▲または▼を使います。

準備されているオプションは、受信する周波数帯(FM、AM、DAB)によって異なります。たとえば、ADD PROGRAM内のFM用TUNEメニューは、次のようになります：

FREQUENCY … 現在の周波数が表示されます。

▲または▼を押すと、選局が開始されます。

BAND … 現在の周波数帯が表示されます。FM、AM、DABのいずれかが選べます。

FINE … 選んだラジオ局の受信状態を微調整します。

STEREO … YESを選択すれば、ステレオ放送が楽しめます。

DAB AERIAL ADJUSTMENT … このメニューには、インジケータバーが表示されます。このバーには、DAB信号の受信状態、および信号ドロップアウトの危険性が長さで示されます。このバーを見ながら、アンテナを調整してください。アンテナの調整中は、音が出ません。

- バーの表示は、信号が強ければ右に向かって伸び、弱くなると左に向かって伸びます。
- バーの背景色は、灰色と白の2種に分かれています。左側の灰色の部分は、一時的な信号ドロップアウトが起きる危険性を表わしています。右側の白い部分は、受信状態が良好で、ドロップアウトの危険が少ないことを表わしています。

アンテナを調整する前に、チャンネル番号を選択しておく必要があります。チャンネル番号は、DAB放送局のウェブサイトで確認してください。

DAB DRC … DAB局によっては、DRC(ダイナミックレンジコントロール)機能を使い、音声信号の圧縮率を調整できる場合があります。圧縮によって、すぐ近くにあるノイズ源からの干渉が補正されます。

DAB DRCメニューの内容は …

3つのモードで12種類の設定が行なえます:

OFF(圧縮なし)

NOM(DABラジオ局推奨の圧縮率)

MAX(最大圧縮。圧縮率はDABラジオ局推奨の2倍)。

- 設定を変更するには、◀または▶を押します。音声信号の圧縮率を微調整したうえで、DRC機能に対応しているDABラジオを受信している時は、ディスプレイの右下に“DRC”と表示されます。DAB DRCメニュー設定は、DRCに対応していない局には無効です。

DABラジオのアップデート …

デジタルオーディオ(DAB)プロバイダーは、ラジオ局をアンサンプル*と呼ばれるグループにまとめて送信します。1つのチャンネルにはアンサンプルが1つ含まれ、1つのアンサンプルには通常5から10のラジオ局が含まれています*。

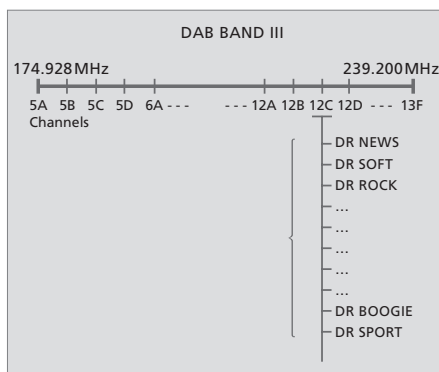
新たなDABラジオ局が放送を開始した時は、選局更新機能を使ってその局を受信できます。この機能を使えば、新しい局を受信しても、それまでに登録しておいた各局は変更されません。

DAB信号を受信すると、その信号に含まれる全ラジオ局が記録されます。選局が完了すれば、ラジオ局のリストの中から、登録しておきたい局が選択できるようになります。

新しいDABラジオ局を受信するには …

- > 受信可能なラジオ局が、STORE DAB PROGRAMメニューに表示されます。
- > ▲または▼を押し、ラジオ局を選んでいきます。
- > GOを押すと、そのラジオ局が保存されます。
- > STORE DAB PROGRAMメニューが空になったり、これ以上ラジオ局を保存したくない時は、EXITを押してメニューを終了します。

*DABプロバイダーによっては、アンサンプルを“マルチプレックス”、各局を“サービス”と呼んでいることもあります。



ご参考までに …

ラジオ局の名前には、数字を含め17文字まで使用できます。ラジオ局に名前をつける時は、▲を押して文字を選びます。入力した文字を削除するには、▼を押します。

大文字、小文字を切替えるには、メニュー内で上向き、または下向きの矢印を選びます。

受信したラジオ局の受信状態が悪い場合は、EDIT PROGRAMメニューから微調整することができます。また、周波数番号の直接入力を受信したラジオ局も、好きな番号をつけて登録できます。

受信中のラジオ局が文字情報を発信していれば、BeoCenter 2のディスプレイにはその文字情報も表示できます。ラジオ情報の表示内容は、DISPLAYメニューから設定します。詳しくは、15ページの‘オプション設定’の章をご覧ください。

DABラジオ番組は、各チャンネルの中でグループまたはアンサンプルとしてまとめられ、放送されます。

ADD PROGRAMメニュー、またはUPDATE TUNINGメニューを経由してラジオ局を受信しても、それまでに登録しておいた各局はまったく変更されません。局名やラジオ局リスト内の表示順序など、登録してある内容もそのままです。ただし、AUTO TUNINGメニューを使って一気に自動選局を行なうと、それまでに受信して登録しておいたラジオ局はすべて削除されます。

FM放送について …

ステレオ信号が弱く、安定したステレオ再生ができない場合は、自動的にモノラル再生に切り替わりません。

オーディオ CD の設定

CDに関する二次的な機能は、AUDIO CDメニューから操作します。二次的な機能には、CDのネーミング、演奏する曲順の編集、ランダムおよびリピート再生が含まれます。

ランダム再生は、セットされたCDの全曲を順不同に再生していきます。リピート再生は、セットされたCDを最長12時間まで繰り返し再生します。

ランダム再生とリピート再生は、別々に使うだけでなく、併用することもできます。

CDに聞きたくない曲が含まれていたなら、CDを編集して、好きな曲だけを再生させられます。聞きたい曲を選択したあと編集機能をオンにするだけで、以降そのCDは、選んだ曲だけ再生されるようになります。

.. AUDIO CD

- | | |
|----------------------------------|-----------|
| 1 THIS CD ... | 1 NAME CD |
| 2 ALL CDs [RANDOM, REPEAT, EDIT] | 2 EDIT CD |

AUDIO CDメニューに入るには、LISTを押してSETUPメニューに入ったあと、AUDIO CDを選びます。

AUDIO CDメニューの内容は…

THIS CD … セットしたCDに名前をつけたり、編集を行いません。初期設定では、CDの全曲が再生されるようになっていますので、CDの編集では聞きたくない曲を除外していきます。

ALL CDs (RANDOM, REPEAT, EDIT) … セットする全CDについて、ランダム機能やリピート再生機能をオンにします。また、編集された曲順での再生もオン/オフできます。

ご参考までに…

CDに名前をつけられるのは、そのCDの再生中だけです。本製品には、最高200枚まで、名前をつけた上でCDが登録できます。名前には、数字を含め17文字まで使用できます。

CD名のリストが一杯になったら、新しい名前を登録する前に既存のCD名を1つ削除するよう、うながされます。編集済みのCD名を削除すると、編集しておいた曲の演奏順も一緒に削除されます。

CDを編集すると、選ばれた各曲は、本来の曲番号に応じた順番で再生されます。CDの全体を聞きたい時は、編集機能をオフにしてください。編集した内容を削除しても、そのCDは常に全曲が聞けるようになります。

表示機能を拡張すると、CD名、曲番号、各曲の経過時間がディスプレイに表示されます。表示機能の拡張については、15ページをご覧ください。

DVDを搭載したBeoCenter 2がテレビに接続されており、MP3フォーマットの曲が記録されたディスクを再生する場合は、Beo4リモコンのDVD*を押してください。21ページで詳しく説明する通り、Disc Navigatorメニューを使って、各曲が操作できるようになります。CDまたはDISCを押しても、ディスクの再生は開始されますが、曲のサーチ機能やランダム再生機能は使用できませんし、Disc Navigatorメニューの呼び出しもできなくなります。

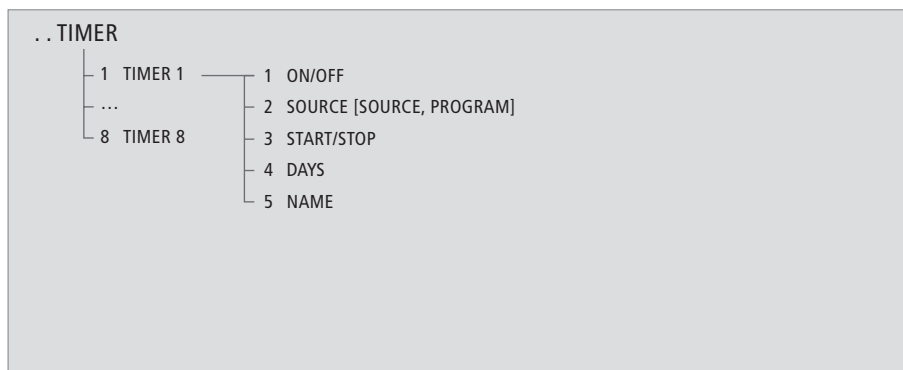
*DVDプレーヤーを内蔵したテレビに接続している場合は、LISTを押すとDVD2がディスプレイに表示され、GOを押すとテレビ側でディスクの再生が始まります。

1日または週単位で、指定した時間に音楽を再生させたり、停止させることができます。

本製品は、最大8個までのタイマー設定を記憶します。朝お気に入りのCDやラジオ局からの音楽で目覚めたり、夜の決まった時刻にシステムをスタンバイ状態にするよう指示できます。毎日実行、週末または休日だけ実行する設定も、個別に行なえます。

それぞれのタイマー設定に、わかりやすい名前がつけられます。各タイマー設定は、個別にオン/オフできます。

タイマー設定は、いつでも変更することができます。



TIMERメニューに入るには、LISTを押してSETUPメニューに入ったあと、TIMERを選びます。

TIMERメニューの内容は…

ON/OFF … プログラムされた各タイマー設定を、オンまたはオフにします。

SOURCE … タイマー設定で、動作させる音源を選びます。ラジオをタイマーの音源として選んだ場合は、局番号も指定してください。

START/STOP … タイマー設定による動作の開始時間、停止時間を入力します。

DAYS … タイマー設定をオンにする曜日を選びます。

NAME … それぞれのタイマー設定に、わかりやすい名前をつけるとき使用します。

ご参考までに…

タイマーで本製品を停止させる場合は、タイマー設定を行なうとき、音源としてスタンバイを選びます。

月曜、火曜、木曜だけに実行するようタイマー設定すれば、毎週、これらの曜日にだけタイマーが作動します。

本製品が、タイマー機能をもつBang & Olufsenのテレビまたはラジオに接続されている場合、タイマーの設定は、テレビまたはラジオ側で行なう必要があります。各製品のガイドを参照しながら、設定してください。設定したタイマーにBeoCenter 2を加えるには、BeoCenter 2側のタイマー機能もオンにしなければなりません。詳しくは15ページをご覧ください。

タイマー機能を使う時は、本製品に内蔵されたクロックが正しくセットされている必要があります。詳しくは15ページをご覧ください。

サウンドの設定

工場出荷時、すべてのサウンドレベルは中間に設定されていますが、お好みにより、各レベルを調節して保存することができます。

調節できるのは、音量に加え、低域および高域の強さ、左右のスピーカー間の再生バランスです。

音量のレベルを設定して保存すると、本製品は、スイッチがオンになるたび、毎回そのレベルで再生を開始します。

また、ラウドネス機能のオン/オフもできます。ラウドネス機能は、低い音量で聞いている時、高域と低域に対する人間の耳の感度が低下するのを補うための機能です。オンにすると、音楽がよりダイナミックに聞こえます。

- ```

.. SOUND
├ 1 PRESET VOLUME
├ 2 ADJUST BALANCE
└ 3 SET TONE [BASS, TREBLE, LOUDNESS]

```

SOUNDメニューに入るには、LISTを押してSETUPメニューに入ったあと、SOUNDを選びます。

### SOUNDメニューの内容は…

**PRESET VOLUME** … 本製品が演奏を始める時の音量を設定します。このメニューで保存できる音量レベルの最大値は、75です。

**ADJUST BALANCE** … 左右のスピーカー間のバランスを調整します。

**SET TONE (BASS, TREBLE, LOUDNESS)** … 低域と高域の強さを調節したり、ラウドネス機能をオン/オフします。

### ご参考までに…

サウンド調節の結果を保存せずにスイッチをオフにすると、本製品は、それまで設定されていた各サウンドレベルに戻ります。

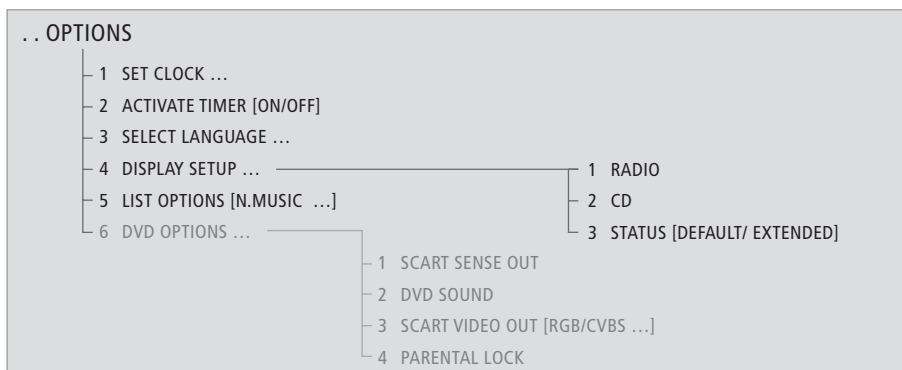
音量レベルは、本体操作パネルまたはBeo4リモコンを使い、いつでも調節できます。

本製品がBang & Olufsenのテレビに接続されている場合は、テレビのガイドに従ってサウンドを調節してください。

本製品の基本的な設定を、お好みに合わせ変更することができます。

OPTIONSメニューで設定できるのは、クロック、タイマー機能のオン/オフ、DVDオプション\*、使用する言語です。

ディスプレイの初期設定、LISTボタンを押した時に表示させたい音源名や機能名も、ここで設定できます。



OPTIONSメニューに入るには、LISTを押してSETUPメニューに入ったあと、OPTIONSを選びます。

### OPTIONSメニューの内容は …

**SET CLOCK …** 内蔵されたクロックに、正しい時刻と日付を設定します。このメニューは、システムがテレビに接続されていない場合にのみ現われます。

**ACTIVATE TIMER (ON/OFF) …** タイマー機能をオン/オフします。ONを選ぶと、本製品に直接つながれているスピーカーも、タイマー設定で使用されます。

**SELECT LANGUAGE …** 言語リストから、ディスプレイ表示に使用したい言語を選びます。

**DISPLAY SETUP …** ラジオとCDの演奏中、どこまでの情報を表示させるか設定します。RADIOを聞く時は局名など、CDを聞く時はCDのタイトルなどを、ディスプレイに表示させることができます。各情報のディスプレイ表示を、操作パネル使用中のみに限定するか、常に表示させておくかはSTATUSで設定できます。

**LIST OPTIONS …** LISTを押したとき現われるリストに、機能やメニューを加えます。

**DVD OPTIONS …** DVDの設定を行なう場合に使用します。詳しくは21ページをご覧ください。\*

### ご参考までに …

工場出荷時、LISTボタンを押したときに使用可能なメニューは、SETUPのみとなっています。

STATUS DISPLAYを、DEFAULTからEXTENDEDに変更すると、通常であれば一時的にしか表示されない情報が、いつもディスプレイに表示されるようになります。

ディスプレイには、時刻を表示することもできます。時刻を表示するには、BeoCenter 2本体のLISTボタンを押してSHOW CLOCKを選択するか、Beo4リモコンのLISTボタンを押してCLOCKを選択します。

本製品がBang & Olufsenのテレビまたはラジオに接続されている場合、クロックのセットは、テレビまたはラジオ側で行なう必要があります。各製品のガイドを参照しながら、設定してください。

本製品がテレビに接続されていると、タイマーはテレビを経由して設定されます。BeoCenter 2でタイマー設定を実行する場合は、ACTIVATE TIMERメニューをONにしてください。この場合、BeoCenter 2にはスピーカーを接続しておく必要があります。

ディスプレイ表示に使う言語を誤って選択した場合は、LISTを押して言語メニューに入り、メニューのいちばん下まで移動したあと▶▶を押し、すぐに5、3と押します。

\*これがメニューに表示されるのは、DVDを搭載しているBeoCenter 2だけです。

## 暗証番号の使い方

暗証番号システムを使い、本製品をロックすることができます。暗証番号を削除すると、暗証番号システムはオフとなります。

暗証番号を使用している本製品が、約30分を超えて電源から切り離されると、本体操作パネルから暗証番号を入力しない限り、再びオンにすることはできなくなります。

暗証番号が入力されないと、本製品は3分間待ったのち、自動的にスタンバイモードになります。

3時間以内に5回までであれば、暗証番号を変更することは可能です。

誤った暗証番号またはMastercodeを入力したり、制限回数を超えて暗証番号の変更を試みると、ディスプレイにはPINCODE ERRORが表示されます。

### PINCODE

- 1 NEW PINCODE ... — CONFIRM PINCODE
- 2 DELETE PINCODE ...

暗証番号メニューを呼び出すには、LISTを押したあと◀を2度押し、最後にEXITを押します。

#### PINCODEメニューの内容は…

NEW PINCODE … 新しい暗証番号を入力、または変更します。

DELETE PINCODE … 暗証番号システムをオフにします。

#### Mastercodeを入力するには…

> システムが暗証番号の入力を求めている間に、◀を3回押し、Mastercodeの入力ができるようになります。

> 入手したMastercodeを入力します。

> Mastercodeを入力すると、暗証番号システムはオフになり、システムはただちに使用可能となります。暗証番号システムを再びオンにするには、新しい暗証番号を入力しなければなりません。

#### ご参考までに…

誤った暗証番号を入力しても、4回までは入力のやり直しを受けつけます。それを超えると、本製品はスタンバイ状態になります。以後の3時間、スイッチをオンにすることはできません。

暗証番号機能を初めて使う時、もしディスプレイにPINと表示されたら、Bang & Olufsen 販売店から入手したPINコードを入力してください。もしPINコードを入手していない場合は、お手数ですが販売店までご連絡ください。

ご自分の暗証番号を忘れてしまった場合は、Bang & Olufsen 販売店へご連絡いただくと、Bang & OlufsenのMastercodeをご提供します。Mastercodeを使って、システムを再びオンにしてください。





## DVD の操作

この章は、DVD を搭載した BeoCenter 2 だけを対象として、書かれています。DVD の操作には、Beo4 リモコンを使ってください。

DVD の再生中は、サーチ速度を変更したり、チャプターを飛ばしたり、DVD ディスクメニューを呼び出すことができます。

STOP を 2 回押しして停止した DVD であれば、それ以降、改めてセットするたびに、前回停止した位置から再生が始まります。STOP を 3 回押しして停止した DVD には、この機能は使えません。

一部の DVD ディスクは、自らを再生している DVD プレーヤーが“再生モード”にあるのか“メニューモード”にあるのかを、認識できません。このごく稀なケースに出会ったら、まず黄色いボタンを押したあとで、プレーヤーに指示を送ってください。たとえば、選んだオプションを保存するのであれば、黄色いボタンを押したあとに GO を押します。

BeoCenter 2 をシステムの一部として使っていて、BeoCenter 2 側にスピーカーが接続されている場合は、DVD を再生しながらラジオを聞くことができます。この場合、本体上の操作パネルはラジオの操作にのみ対応します。

DVD の各チャプターを切り替えながら再生するには …  
DVD の再生を開始

**DVD**

順送りでチャプターを移動する。  
繰り返し押しすると、前後のチャプターに進む

▲ ▼

チャプター番号を直接入力すると、そのチャプターに移動する

**1 - 9**

再生中に押しすると、早送り/早戻しされる

◀ ▶

DVD の再生を再開する

**GO**

DVD を一時停止、スロー再生、停止するには …  
再生を一時停止する

**STOP**

前後にスロー再生する

◀ ▶

もう 1 度押しすると、再生が停止する。あるいは …

**STOP**

… 改めて再生が開始される。あるいは …

**GO**

… 3 回目を押しすると、ディスクの先頭に戻る

**STOP**

DVD によっては、再生中、ボーナスシーンなどの特殊機能を使うことがあります。このような特殊機能を選ぶには、GO を押します。

DVD 画面メニューを使うには …  
赤いボタンを押すと、オーディオ言語メニュー\*が呼び出される。繰り返し押しすると、選択可能なオプションが切り替わる。オプションをどれか 1 つ選ぶと、このメニューが消える

■

緑色のボタンを押すと、字幕言語メニュー\*が呼び出される。繰り返し押しすると、選択可能なオプションが切り替わる。オプションをどれか 1 つ選ぶと、このメニューが消える

■

青いボタンを押すと、ディスクメニューが呼び出される

■

ディスクメニューの内容は …  
矢印キーを押し、メニュー内のオプション間を移動する

▲

◀ ▶

▼


選択したオプション、または設定を確定する





**GO**

\*字幕やオーディオ言語メニューが、含まれていないディスクもあります。その場合は、メインメニュー、ないしディスクメニューを使用してください。


注意! Beo4 リモコンのボタンと同じボタンが、操作パネルにもある場合は、操作パネルのボタンでも同じ操作を行えます。


DVDを選択している時に…


黄色いボタンに続けて1を押すと、  
セットしたディスクのトップメニュー  
1 \*が呼び出される


矢印キーを使って、メニュー内のオ  
プション間を移動する    

選んだオプション、または設定が **GO**  
確定される

黄色いボタンに続けて2を押すと、  
演奏状況の表示メニューが呼び出  
2 される。もう一度2を押すと、次の  
表示に切り替わる。さらに2を押す  
と、最初の表示に戻る

黄色いボタンに続けて3を押すと、  
DVD設定メニューが呼び出される。3  
詳しくは次ページ参照

黄色いボタンに続けて4を押すと、  
画像がズームされる。もう一度4を **4**  
押すと、拡大率が大きくなる。さら  
に4を押すと、ズーム機能が終了す  
る

黄色いボタンに続けて5を押すと、  
カメラアングルメニューが呼び出さ  
5 される。もう一度5を押すと、オプショ  
ンが選択できる。オプションを選  
択すると、メニューは消える。ただ  
し、ディスク設定メニューでアング  
ルインジケータをオンにしている  
場合は、そのアイコンが画面上に  
表示され続ける

\*トップメニューが含まれていないデ  
ィスクもあります。

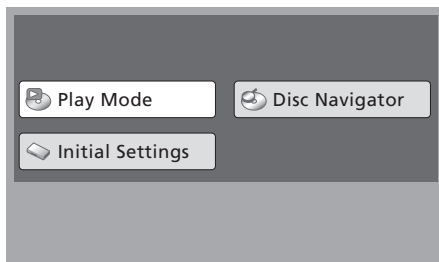
#### その他のフォーマットのディスクを再生するには

BeoCenter 2は、さまざまなフォーマットのデ  
ィスクを再生できます。対応しているディスクフォー  
ーマットは:

- DVD-ビデオ
- オーディオ CD
- ビデオ CD
- CD-R/RW
- DVD-R/RWただし、DVDビデオフォーマット  
で録画され、ファイナライズされているディス  
クに限りです。
- MP3 ファイルを収録したディスクただし、サン  
プリング周波数が32, 44.1,または48Khzのも  
のに限りです。
- WMA (Windows Media Audio)  
MP3またはWMAファイルの再生中は、▲と  
▼を使って曲間を移動できますし、◀と▶で  
早送り/早戻しができます。ただし、MP3の曲  
の早送り/早戻しは、Beo4 リモコンでDVDボタ  
ンを押し、再生を開始した場合に限られます。  
21 ページの説明に従って Disc Navigator メ  
ニューを呼び出すと、ディスクの内容を一覧で  
きます。内容リストを非表示にするには、EXIT  
を押します。
- 解像度が最大 3072 x 2048 までのJPEG ファ  
イルを含んだディスクで、JPEG ファイルの再現中、  
黄色いボタンに続けて ▲ と ▼、◀または▶  
を使えば、画像が回転します。
- DivX バージョン 3, 4, 5 および DivX VOD

一般的に、データを書き込んだファイルの読  
み取りは、そのようなファイルが CD-R/RW に記  
録されている場合にのみ可能です。

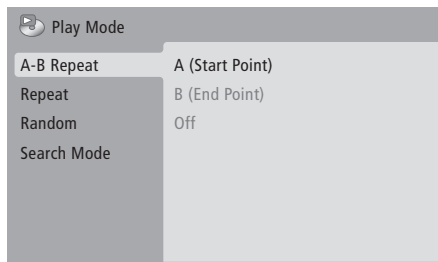
注意!このDVDプレーヤーは、工場出荷時に、仕向  
地別の適切なリージョン設定が行なわれています。  
リージョン設定が異なるDVDディスクは、再生でき  
ません。



#### DVD 画面メニューを使うには …

- > 黄色いボタンに続けて3を押すと、DVDメインメニューが呼び出されます。
- > ◀または▶を使ってメニューを選び、GOを押して確定します。
- > 矢印キー◀▶、▲および▼で、メニューや設定の間を移動できます。
- > GOを押すと、選択した内容が保存されます。
- > EXITを押すと、画面メニューが終了します。

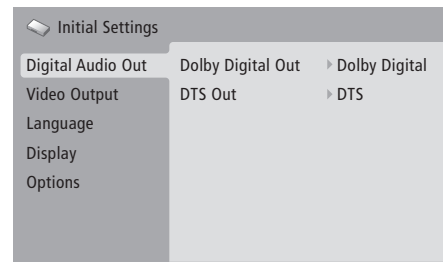
画面メニューを操作するには、まず、BeoCenter 2にDVDディスクをセットする必要があります。



#### Play mode メニューの内容

Play Modeメニューでは、さまざまな再生機能が選択できます。選べるオプションは:

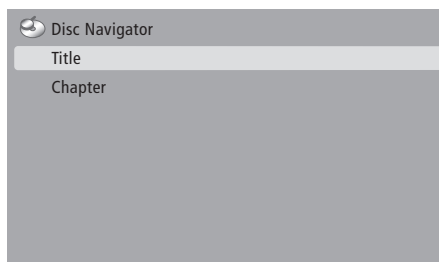
- A-B Repeat** … ディスクの中の2カ所を指定することにより、その2カ所のあいだを繰り返し再生します。
- Repeat** … DVD ディスク全体、または指定したチャプターを繰り返し再生します。
- Random** … ディスク内のタイトルまたはチャプターを、順不同でランダム再生します。
- Search Mode** … タイトルまたはチャプター単位で、ディスク内をサーチします。ディスク内の特定の経過時間を指定し、サーチすることもできます。



#### Initial Settings メニューの内容

Initial Settingsメニューで、DVD ディスクを再生する基本的な設定が行なえます。このメニューの中の各設定を、ディスクの再生中に変更することはできません。選べるオプションは:

- Digital Audio Out** … デジタル音声出力のフォーマットを設定します。Dolby Digital Outで選べるフォーマットは; Dolby DigitalまたはDolby Digital > PCM (stereo)。DTS Out DTS Outで選べるフォーマットは; DTSおよびDTS > PCM (stereo)。
- Video Output** … テレビに表示される画像のフォーマットを選びます。選べるフォーマットは:4:3 (標準), 4:3 (ワイド)および16:9 (ハイビジョン)。4:3 (標準)では、画面の上下が黒い帯で隠されます。  
Component Out; このオプションは、AV Connector Outの設定をVideoに変更しない限り、変更しないでください。  
AV Connector Out; 最適な画質、RGBに設定されています。
- Language** … オーディオメニュー、字幕メニュー、DVD ディスクメニューの表示を、お好みの言語に設定します。また、再生中に字幕を表示するかどうかも選択できます。設定した言語に対応したディスクをセットすると、その言語が表示に使われます。  
一部のディスクは、'Language'メニューであらかじめ字幕言語を設定していても、字幕の表示言語をディスクメニューから選ぶよう求めてきます。



**Display** … DVD プレーヤーメニューの表示言語を設定します。また、操作ディスプレイやアングルインジケータを、画面上に表示するかどうか選択できます。アングルインジケータは、別アングル画像の呼び出し機能がついたDVDディスクのみ有効です。

**Options** … 一部のDVDディスクには、Parental Lock (視聴許可年齢制限)が設定されています。ディスク側の制限値よりも低い値を設定すると、暗証番号を入力しない限り、そのディスクは再生されません。また、一部のディスクにはCountry Codeも設定されています。Country Codeと、Parental Lock 制限値の組み合わせによっては、一部のシーンが再生不可となります。Parental Lock または Country Code の制限値を設定しなおすには、まず暗証番号を入力しなければいけません。暗証番号は、いつでも変更できます。暗証番号を忘れてしまったら、DVD OPTIONS メニューに入ったあと、PARENTAL LOCK をリセットしてください。これで、この機能が解除されます。DVD OPTIONS メニューについては、このページで後ほどご説明します。  
DivX VOD は、ビデオオンデマンドに使用します。DivX VOD メニューを使い、プロバイダーに送る DivX VOD 登録コードが作成できます。詳しくは、DivX VOD プロバイダーにお問い合わせください。

#### Disc Navigator メニューの内容

Disc Navigator メニューを使うと、ディスク内のタイトルやチャプタに、素早く移動できます。

#### BeoCenter 2 の DVD OPTIONS メニューは …

BeoCenter 2 は、DVD OPTIONS メニューを次のように設定する必要があります。詳しくは、15 ページをご覧ください。

**SCART SENSE OUT** … 本製品を、BeoVision MX シリーズ (4000/4002, 6000/7000), AV 9000, または 21 ピン SCART 端子を備えていない Bang & Olufsen 製のテレビと接続する場合は、OFF を選択してください。

AV 2 Expander ボックス経由で BeoVision MX に接続されていたり、その他の Bang & Olufsen 製テレビに接続されている場合は、ON を選びます。

**DVD SOUND** … 本製品に接続したスピーカーから DVD の音声を聞く時は、PL/SCART を選択してください。

テレビの内蔵スピーカーだけで DVD の音声を聞く時は、21 ピン SCART 端子がないテレビを使っている場合でも、SCART を選択してください。

**SCART VIDEO OUT** … 本製品を、AV 9000, BeoVision LX, BeoVision MS, または BeoVision MX4000/4002/6000/7000 テレビと接続する場合は、CVBS を選択してください。BeoVision Avant 50 Hz テレビ、または 21 ピン SCART 端子を備えていない Bang & Olufsen 製テレビと接続する場合は、Y/C を選択してください。その他のテレビと接続する場合は、RGB/CVBS を選びます。

**PARENTAL LOCK** … DVD プレーヤーの暗証番号を忘れてしまったり、番号をリセットしたい場合は、このメニューから YES を選択します。

## Beo4リモコンでの操作

本製品を、他の Bang & Olufsen 製品と接続して使う場合の詳しい操作については、各製品に付属しているガイドをご覧ください。

- ▲  
▼ ラジオ局またはCDのトラックを次々に送る。Beo4のディスプレイにRANDOMまたはREPEATと表示されている時は、▲を押すと各機能がオン、▼を押すとオフになる
- ◀ ▶ CD内をサーチ、またはメニュー内で左右に移動
- GO 再生の再開や、音源/映像源のスイッチオンを行なう。CLOCK等の機能がBeo4のディスプレイに表示されている時は、その機能をオンにする
- LIST RANDOM  
N.MUSIC RANDOM, REPEAT, N.MUSIC\* 等の“ボタン”を追加表示する  
– BeoCenter 2 本体のLISTとは異なります!
- STOP CDの再生を一時停止する  
または1つ前のメニューに戻る
- ▲  
▼ 音量を調節する。中央部を押すと音が消え、もう1度押すと復活する



Beo4のディスプレイに、各種の追加“ボタン”を表示するには: まず、Beo4のリストにRANDOMやREPEATといった機能を追加する必要があります。A.AUXを追加すると、AUX端子に接続された音源のスイッチがオンにできます。詳しくはBeo4のガイドをご覧ください。

- RADIO** ラジオのスイッチをオンにする
- DVD** DVDを搭載したBeoCenter 2で、DVDをオンにする
- CD** CDをオンにする
- 0-9** ラジオ局の番号、CDのトラック番号、DVDのチャプター番号を入力する。メニュー内で番号が振られた項目を選択する時にも、この番号キーを使う
- MENU** メニューシステムに入る – BeoCenter 2 本体上の、LISTボタンに相当します
- Color Buttons** DVDの再生中に字幕メニューを呼び出す等、DVD関連の機能を操作するとき使用する。これらのカラーボタンが使えるのは、DVDを搭載したBeoCenter 2だけです\*
- EXIT** メニューシステムを終了する
- Red Dot** システムをスタンバイ状態にする

\*注意! カラーボタンは、N.MUSICの再生中にも使用します。詳しくは、BeoPortガイドを参照してください。

## オーディオ/ビジュアルシステム

本製品をビジュアルシステムに接続する, Socket unit Guide p. 6  
オプション設定, Socket unit Guide p. 10  
オーディオ/ビジュアルシステムを使う, Socket unit Guide p. 11

## Beo4 リモコン

Beo4 リモコンの使い方, 22

## ケーブル

ケーブルの接続, Socket unit Guide p. 6  
ケーブルカバーの取り付け, Socket unit Guide p. 5

## CD プレーヤー

CD の名前を削除, 12  
CD のセット, 5  
CD のネーミング, 12  
CD の再生, 4  
聞きたいトラックだけを再生, 12  
トラックのランダム再生, 12  
CD を最高 12 時間リピート再生, 12

## クリーニング

CD の取り扱い方, Socket unit Guide p. 12  
本製品のお手入れ, Socket unit Guide p. 12

## クロック

内蔵クロックのセット, 15

## 接続

アンテナ端子, Socket unit Guide p. 6  
ヘッドフォンの接続, 5  
スピーカーの接続, Socket unit Guide p. 6  
本製品をビジュアルシステムに接続, Socket unit guide p. 6  
ソケットユニット, Socket unit Guide p. 6

## 連絡先

Bang & Olufsen の連絡先, 25

## DAB ラジオ

DAB 音声信号圧縮の調整 – DAB DRC, 10  
DAB アンテナの調整, 11  
DAB アンテナ端子, Socket unit Guide p. 6  
DAB ラジオの選局, pp. 10–11

## 削除

CD の名前を削除, 12  
ラジオ局を削除, 10  
編集した曲の並びを削除, 12

## ディスプレイ

表示される情報の説明と変更方法, 5 and 15

## DVD

DVD – オーディオ言語, 20  
DVD の画面メニュー, 20  
DVD の操作, 18  
DVD OPTIONS メニュー, 21  
DVD – Parental Lock, p. 21  
DVD – 字幕言語, 20  
DVD の再生, 18

## 初期設定

初期設定の手順, 8

## ヘッドフォン

ヘッドフォンの接続, 5

## インジケータライト

インジケータライト, 5

## 言語

DVD用の言語を変更, 19  
ディスプレイに表示する言語を変更, 15

## スピーカー

スピーカーの接続, Socket unit Guide p. 6

## クリーニングと保守

本製品のお手入れ, Socket unit Guide p. 12

## Master Link

オーディオ/ビジュアル設定, Socket unit Guide p. 10  
オプション設定, Socket unit Guide p. 10  
オーディオ/ビジュアルシステムを使う, Socket unit Guide p. 11

## メニュー

メニュー内の記号について, 6  
メニューの使い方, 7

## ネーミング

CDの名前を削除, 12  
CDに名前をつける, 12  
ラジオ局に名前をつける, 10

## N.Music

N.MUSICの再生, 9

## N.Radio

N.RADIOの受信, 9

## 操作パネル

操作パネルの概要, 4

## オプション

本製品に正しいオプションを設定, Socket unit Guide p. 10

## 暗証番号

暗証番号システムをオンにする, 16  
暗証番号を変更または削除, 16  
暗証番号を忘れてしまったら, 16  
マスターコードの入力, 16  
暗証番号の使い方, 16

## 設置

本製品の設置, Socket unit Guide p. 4

## ラジオ

ラジオ局を削除, 10  
ラジオ局を移動, 10  
ラジオ局に名前をつける, 10  
ラジオのスイッチをオン, 4  
ラジオ局の受信, 10

## ランダム再生

各トラックを順不同に再生, 12

## リピート

CDのリピート再生, 12

## 設定

クロックの設定, 15  
DVD再生の初期設定を行なう, pp. 19–20  
サウンドの調節, 14

## 接続パネル

接続端子の概要, Socket unit Guide p. 6

## サウンド

音量の調節と消音, 4  
ステレオからモノへの変更, 10  
音量、低域、高域、ラウドネスの調節, 14

## タイマー

内蔵クロックのセット, 15  
システムの演奏を自動的に開始/停止, 13  
タイマー演奏機能のスイッチをオン, 13  
タイマー設定の編集、削除、確認, 13

## トラック

聞きたいトラックだけを再生, 12  
各トラックを順不同に再生, 12

## ウォールブラケット

ウォールブラケットへの取り付け, Socket unit Guide p. 8



### よりよい製品を作るため…

Bang & Olufsen は、お客様の声とニーズをていねいに検討しながら、より快適に使える製品を作るためデザインと設計を行なっています。

お買い求めになった Bang & Olufsen 製品について、率直なご意見をお聞かせください。どのようなご意見であっても、今後の製品作りに反映させていきたいと思えます。

ご協力をお願いします。

ご連絡は、次のウェブサイトからお願いします…  
[www.bang-olufsen.com](http://www.bang-olufsen.com)

郵便宛先: Bang & Olufsen a/s  
BeoCare  
Peter Bangs Vej 15  
DK-7600 Struer, DENMARK

ファックス: Bang & Olufsen  
BeoCare  
+45 97 85 39 11 (fax)



#### WEEE 指令 – 環境保護対策について

WEEEとは、「電気・電子機器の廃棄に関する欧州議会および理事会指令」の略です。この指令の目的は、電子機器および電子部品からの廃棄物を減らし、このような廃棄物の再利用とリサイクルを促進させることにあります。当然、メーカーだけでなく、販売業者や消費者もこの指令の対象となります。

WEEE 指令は、製造者と消費者の双方に対し、電気器具と電子機器、そして関連する部品を、環境に安全な方法で処理することを求めています。廃棄物は再利用され、その原料はエネルギー源として再処理されていきます。電子機器および電子部品を、通常の家庭ゴミと一緒に処理することは禁じられています。すべての電子機器および電子部品は、別個に収集され、処理されなければいけません。

再利用、リサイクル、再生処理されるべき製品と部品には、左に示したマークが付けられています。

お客様の国で採用されている回収システムに従い、電気器具や電子機器を処分することは、環境と人類の健康を保護し、自然資源の有効活用に貢献することを意味します。また、電気器具や電子機器を一般の廃棄物とは別に回収すると、電気器具や電子機器の中に残留しているかもしれない危険な物質で、環境が汚染されることも防げます。

本製品をご使用になる国での正しい処理方法については、お近くの Bang & Olufsen ストアにお問い合わせください。

#### アメリカ向け特記事項

注意：本製品は、連邦通信委員会規定第15項に従って検査され、クラスBデジタル装置の制限に適合することが証明されています。この制限は、一般家庭で使う場合に起こり得る有害な干渉に対し、適正な防護措置を講じるためものです。

本製品は、無線周波エネルギーを発生、使用、放射することがあり、指示通りの設置や使用が行なわれないと、無線通信に有害な干渉を行なう恐れがあります。ただし、このような干渉が発生しない条件を、特定することはできません。もし、本製品がラジオやテレビの受信に干渉するようであれば、本製品の電源をオン/オフすることで干渉源が本製品であることを再確認したうえ、以下の方法を用いて干渉を除去してください。

- 受信アンテナの向き、または設置場所を変える。
- 受信装置から本製品を遠ざける。
- 受信装置とは別の電気回路にあるコンセントに、本製品を差し込む。
- 販売店または経験を積んだラジオ/テレビ技術者に相談する。

#### カナダ向け特記事項

このクラスBデジタル装置は、カナダの妨害発生源機器規則のすべての要件に適合しています。



本製品は、EEU 指令 89/336 および 73/23 に規定されたすべての条件を満たしています。

CLASS 1  
LASER PRODUCT

本コンパクトディスクプレーヤーにつけられたこのラベルは、本製品に、クラス1レーザー製品に分類されるレーザーシステムが、搭載されていることを警告しています。本コンパクトディスクプレーヤーの使用にあたって、何らかの問題が発生した場合は、Bang & Olufsen 販売店に連絡してください。専門のサービス員ではない人が、本製品のカバーを開けることは、強く禁じます。

警告: この説明書に記載されていない方法で操作したり、調整や処置を施した場合、危険なエネルギー放射にさらされる可能性があります。

本製品は、US 特許 4,631,603; 4,577,216; 4,819,098; 4,907,093; 6,516,132、およびその他の知的所有権によって保護された特許技術を使用しています。この著作権保護された技術の使用は、Macrovision からの許諾を必要とし、また、特に Macrovision が許諾しない限り、家庭内および限定した範囲内での使用を意図しています。本製品の分解や分析は禁じられています。



DVD Video ロゴは登録商標です。

Manufactured under license from Dolby Laboratories. "Dolby" and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.  
Confidential unpublished works.  
Copyright 1992-1997. All rights reserved.

技術仕様や機能、および使用方法は、事前の予告なく変更される場合があります。

